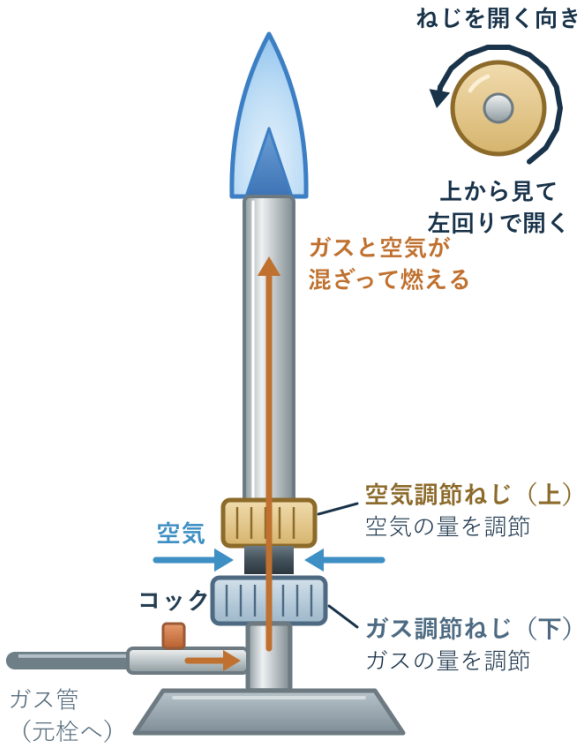
ガスバーナーの火のつけ方と炎の調節

ガスバーナーの2つのねじは何を調節するのだろう。よい炎とよくない炎はどう違うのだろう

つくりと2つのねじ



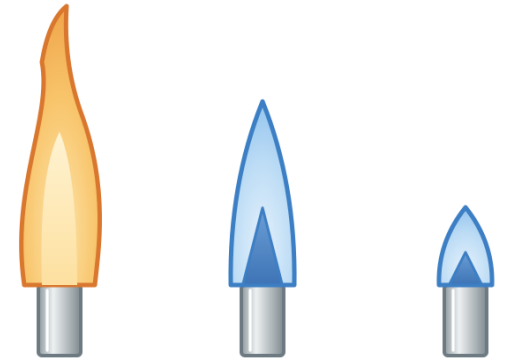
火のつけ方

1. 2つのねじが閉まっているか確かめる。
2. 元栓を開く（コックがあれば、コックも開く）。
3. マッチに火をつけ、筒の口のななめ下から近づけてから、ガス調節ねじを少しずつ開いて火をつける。
   なぜ？ 先に火を近づけ、出たガスをためない
4. ガス調節ねじを回して、炎の大きさを調節する。
5. ガス調節ねじを押さえたまま、空気調節ねじだけを少しずつ開き、青い炎にする。
   なぜ？ ガス調節ねじが回らないように

消すとき：つけるときの逆の順

空気調節ねじ→ガス調節ねじ→コック→元栓

炎のようすと空気の量



空気が足りない	ちょうどよい	空気が多すぎる
オレンジ色で長くゆれる	青い炎。内側に三角の部分	炎が短く、消えやすい
✕	✓	✕

空気が少ない ← 空気調節ねじで調節する → 空気が多い

気をつけること

長い髪はまとめ、袖や顔を火に近づけない。近くに燃えやすい物を置かない。保護眼鏡をかける。

ガスのにおいがしたら火をつけず、すぐに元栓を閉めて先生に知らせる。使ったあとのバーナーは熱いので、すぐにさわらない。

※ 模式図。器具の形やねじの位置は製品で違う。完全な操作手順ではない。授業では先生の指示で確かめる。